

2020年10月3日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第1戦 決勝上位コメント

### ■ 第1戦 決勝1位 平木玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「スタート直後のアクシデントでセーフティカーが導入されましたが、自分のレースラップが悪くないのは分かっていたので、リスタートでも落ち着いて対処することができました。平良（響）選手はストレートが速く、これはTGR（第1）コーナーでのブレーキング勝負になると思っていましたが、実際にその通りTGRコーナーでトップに立つことができました。その後は2位争いが激しくなって、自分としては楽な展開になりました。去年までお世話になっていたル・ボージェが去年限りで撤退し、それを自分たち（湧也／玲次の平木）兄弟で HELM MOTORSPORTS として引き継ぎ、今回が初レース。そのレースで勝ててとても嬉しいです」

### ■ 第1戦 決勝2位 野中誠太【#36 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「自分としては、まずまずのスタートを切ることができました。セーフティカー後のペースは悪くなかったですね。それにトップ3が激しく競り合っていて、そこにスリップストリームを上手く使ってついて行き、2位にまで進出することができました。レース中のベストラップでは2番手で、明日の第3戦はフロントロウからスタートすることになりました。ただし、もっともっと自分のスピードを磨いていく必要も感じました。それにしても今回のバトルは凄かったですね。終わってみればクリーンで良いレース、良いバトルができて楽しかったです」

### ■ 第1戦 決勝3位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「とても悔しいレースになりました。自分のペースは悪くないはずなのに、他の選手に抜かれた後は焦ってしまって。抜かれてもまたすぐに抜き返せるんだから、と落ち着いて対処すればよかったのですが、それができなかった。クルマのフィーリングも悪くなくて、もっといいレースができるはずだったのに…。そう思うと、とても悔しいレースになってしまいました」

### ■ 第1戦 インディペンデントカップ1位 仲尾恵史【#2 TCS Racing Team】



「今回は木曜日の走り始めからクルマの調子は良く、予選でも自分としては速く走れたと思ったのですが、それ以上に周りの皆が速くて、クラス4番手からのスタートとなりました。それでもスタートで上手くダッシュすることができて2番手にまで進出できました。それが大きな勝因になりました。トップに行く選手も速かったのですが、何とか着いて行ってこれを抜き、優勝することができました。開幕戦で優勝でき、シーズンに良い滑り出しを見せることができました。このまま落ち着いたレースを続けていきたいですね」